

事業名	まちだ若者大作戦～世界の言語で Cooking～
背景・目的	<背景> 桜美林大学のグローバル・コミュニケーション学群には留学生や外国語を学ぶ学生が多数おり、自分たち学んだ言語や留学生の自国の言語を生かす。 <目的> 料理を通して町田市の子どもや若者たちと交流し、多文化に興味を持ち、親しむきっかけを作る。多言語でのクッキングを通して、日本以外の言語や文化、社会に触れる機会を提供し、グローバルな視点を持つ子どもの育成に寄与する。
日時	① 2024 年 11 月 30 日(土)11 時 00 分～13 時 00 分 ② 2024 年 12 月 15 日(日)11 時 00 分～13 時 00 分 ③ 2025 年 1 月 19 日(日)11 時 00 分～13 時 00 分 ④ 2025 年 2 月 15 日(土)11 時 00 分～13 時 00 分 ⑤ 2025 年 3 月 16 日(日)11 時 00 分～13 時 00 分
実施場所	① 子どもセンターただ ON フィリピン料理「シシグ」 ② 子どもセンターぱお 韓国料理「キムパ」 ③ 子どもセンターつるっこ ベトナム料理「ゴイクン」 ④ 子どもセンターばあん アメリカ料理「ハンバーガー」 ⑤ 子どもセンターまあち インドネシア料理「マルタバ」
対象	小学生～18歳
参加者数	定員各 20 名まで
内容	桜美林大学のグローバル・コミュニケーション学群の留学生や外国語を学ぶ学生が、留学生の自国の言語や自分たちが学んだ言語を生かし、タガログ語、韓国語、ベトナム語、英語、インドネシア語を使った多言語での料理教室かつ言語レクリエーションを実施。
様子	【子どもセンターただ ON】 参加者は慣れ親しんだ場所・職員が周りにいることや、仲の良い友達と同じグループになることができ、終始和やかな雰囲気。シシグという料理に馴染みがなく、「どんな感じなの？」という子もいたが、刻んで炒めるだけで完成したため「家に帰ってからでも簡単に作れそう」と嬉しそうに話していた。シシグに使う具材がパワーポイントでまとめられ、それを見ながら「シブヤス(玉ねぎ)を入れます」等、言語に触れる機会が設けられていた。「サラマ(ありがとう)だけでも通じるけど、最後にポを付けると丁寧になるから、年上の人にはポを付けて会話するんだよ」と教えてもらおうと「へ～！！」と感心の声が上がっていた。企画者も初めての場だったため、次回以降の改善点も見え、有意義な会となっていた。 【子どもセンターつるっこ】 初めは緊張した雰囲気の子どもたちだったが、テーブル対抗のアイスブレイクを行う中で緊張が解けていく様子が伺えた。急遽体調不良でベトナム出身の留学生が来れなくなってしまったが、参加者の中にベトナム出身の子がいて、発音や作り方にアドバイスをくれたりと、企画者と参加者で力を合わせながら会が展開されていった。ライスペーパーを触ったことがない子が多く、水につけると柔らかく変化していくことに目を輝かせていた。具材やソースを自分で選びカスタマイズすることで、子どもたちの主体性を育む会になっていた。
今後	2025 年 2 月 15 日(土)11 時 00 分～13 時 00 分 子どもセンターばあん 2025 年 3 月 16 日(日)11 時 00 分～13 時 00 分 子どもセンターまあち 開催予定

